



さくらんぼだよ

12月号

平成30年12月1日

社会福祉法人 北杜福祉会 西多賀チェリー保育園

発表会においでください

園庭の木々も葉っぱを落として、いよいよ冬支度。その落ち葉を使って、先日、焼き芋会をしました。子ども達が育てたサツマイモはデブ芋ちゃんがいっぱい！子ども達で数えると180本近くありました。焼き芋会当日はみんなで水に濡らした新聞紙とアルミホイルで包み落ち葉を燃やした焚き火の中へ投入！“ばばあちゃんをやきいもかい”の絵本を読んでもらっていた子ども達は、サツマイモだけでは飽き足りず、サトイモ等も入れて楽しんでいました。色んな事に益々興味関心を広げている子ども達ですが、一つ一つ試してみたいという気持ちは大事にしてあげたいと思います。

そして、冷たい風の中でも元気に走り回って遊ぶ子ども達、そんな子どもたちにもっと元気を与えられるよう、畑の冬野菜たちはしっかり畑の土から養分をとり、青々と育っています。栄養価の高い旬の冬野菜は、粘膜を強くして、ウイルスに対しての抵抗力を高め、風邪の予防につながると言われています。

今年はまだインフルエンザに罹ってしまったというような事はありませんが、インフルエンザや、嘔吐下痢症などの感染症が流行するのはこれからの時期。冬野菜を取り入れたバランスの良い食事、そして十分な睡眠を心がけ寒い冬を乗り越えられるようにしていきたいと思います。

12月15日(土)は発表会です。

今、子ども達は、普段読んでもらっている絵本のお話を楽しみながら劇ごっこをしたり、歌を歌ったり、楽器を手にして合奏もどきを楽しんだりしています。発表会では、このように子ども達が楽しんでいる姿、そして自分達で役割を決めて頑張っている姿など、歌や合奏、劇などを通して保護者の方々にみていただければと思います。子ども達の普段からの頑張りに皆様の温かな拍手をお願いします。保護者の皆様のおいでをこころよりお待ちしております。



2018・12・1 園長 中館 和子

お知らせ



<発表会について>

12月12日(水) 発表会総練習(祖父母招待) 9:00~12:00
12月15日(土) 発表会 (園児保護者) 9:00~12:00

<発表会後のミニパーティについて>

子ども達の発表が終わりましたら、各クラスごとミニ・パーティをします。終了時間は、予定より多少長引くことがあるかもしれませんが、その際は、ご了承下さい。



<もちつき会について>

12月20日(木)もちつき会をします。
もちつき会では、おじいちゃん、おばあちゃん達をご招待し、交流したいと思っています。詳細は、後日、お知らせ致します。

<30年度保育所入所継続手続きについて>

入所継続の手続きの期間は12月5日(水)までとなっています。
記入漏れなどが無いか確認し期日まで提出してください。

<おはなしの広場まつり&バザー、ご協力ありがとうございました>

おはなしの広場まつりでは、実行委員長さんをはじめ、たくさんの方々のご協力の下、無事、終える事ができました。絵本購入、環境整備基金のため、家庭用品、手作り品など提供して下さい下さった方、野菜などたくさんのお物を購入して下さい下さった方等、皆様のお心遣い、感謝致します。本当にありがとうございました。

行事予定

12月		
日	曜日	行事
4	火	発育測定
5	水	避難訓練
12	水	発表会総練習
15	土	発表会
18	火	誕生会
20	木	もちつき会
28	金	御用納め

1月		
日	曜日	行事
4	金	仕事始め
8	火	発育測定
9	水	避難訓練
10	木	5歳児懇談会
18	金	4歳児懇談会
22	火	誕生会
25	金	3歳児懇談会
29	火	2歳児懇談会

* 12/29(土)~1/3(木)まで休園です。



先日のおはなしの広場まつりでの講演会は、前園長の畠山先生による「絵本が育む子どもの心」というテーマでお話を頂きました。絵本の読み聞かせの大切さは、どのご家庭でもよく心得ていることでもあり、今までにないくらいの大盛況でした。皆さんから頂いた感想の中には、忙しさを理由に読み聞かせを怠っていたとの反省から心機一転、毎日寝る前は優しいおかあさんになって絵本を読んであげていることや、読み聞かせの大切さを再認識できたとの声が聞かれ、とてもうれしく思っています。

おとうさん、おかあさん達が、講演会后、気持ちが和み、その気持ちで子ども達と過ごせた「おはなしの広場まつり&バザー」・・・、子ども達はきっととても幸せな気持ちになっていたのではないかと思います。感想の中には“自己肯定感”を育てるための方法を教えてほしいとの声もありましたが、おとうさん、おかあさん達の優しいまなざしの中で、絵本を読んでもらったり、バザーと一緒に楽しんだりすることで、家族にとっての「私」はとても大事な存在であることをきっと子ども達は、感じているのではないかと思います。それこそが自己肯定感ではないでしょうか。普段、時間に追われているとつい“早く！急いで！”とかの言葉が出たり、子ども自身が思い通りにならず泣いていたりすると、“いつまでグズグズしてるの！”といったような否定の言葉をかけがちですが、大人にとっては些細な事であっても、子どもにとってはとても大事な事、ということもあります。

その時々の子どもの気持ちに寄り添い共感する事で、子ども達はおとうさん、おかあさんに愛されている、大切な存在なんだという気持ちが育まれ、きっと今以上に自己肯定感も高まってくるのではないかと思います。

万が一、否定的な言葉をかけてしまったにしても、絵本という強い見方があります！一日の締めくりに、絵本を優しい気持ちで読んであげて下さい。



母と子の 絵本棚



「しんせつなともだち」 出版社 福音館
ふぁん いーちゅん 作 君島 久子 訳 村山 知義 画
食べ物の無い冬、雪の中でかぶを2つ見つけた子ウサギ。1つは自分で食べ、もう一つはともだちの所へ・・・。そのともだちもまた、友だちへ・・・。友だちを大切に思う温かさ、寝る前の静かな時間にどうぞ。



「スーホの白い馬」 モンゴル民話
大塚 勇三 再話 赤羽 末吉 画
貧しい羊飼いの少年スーホは拾った白い子馬を毎日大事に大事に育てていました。でも、ある日、突然殿様の命令で、白い馬と引き離されてしまいます。お話は、決してハッピーエンドではありませんが、悲しいけれど、幸福感が永遠に心に残るような感じがします。子ども達もきっと何かを感じるのではないかと思います。是非、手に取ってみてください。



「むし歯にならない心がけ」



先日、初めて、子どもだけの歯科健診を行いました。今までは、おとうさん、おかあさんと一緒ということもあり、泣いて健診が難しかった子どもも、担任の先生と一緒にということで、みんな、スムーズに受けることができました。虫歯になっている子どももいましたが、歯科衛生士さんに歯磨きの仕方を一人ひとり丁寧に教えてもらい、健診後はみんな口の中がさわやかになり、ニコニコ笑顔でした。歯ブラシがぼそぼそになってしまっていた子どもや、自分の歯に合わない歯ブラシの子どももいましたが、川俣先生から、新しい歯ブラシをもらって、むし歯にならないように“がんばるぞ～！”といった様子でした。ご家庭でも、歯ブラシの点検、仕上げ磨きなど、虫歯予防に尚、努めてください。

わらべうたであそぼう

♪どんぶかっかすっかか♪

どんぶかっか すっかか
あったまって あがれ
かわらの どじょうが
こがいを うんで
あずきか まめか
つづらのこ つづらのこ

